

ヨコ顔

しんちゃん



会員が順次登場します

将棋に早朝ソフトボール、そば打ちも楽しむ如才ない横顔と、献血歴300回以上、被災地でのボランティア、海外赴任の経験を生かした日本語教室ボランティアなど熱いハートの持ち主。奥様と自治会活動もさりげなくこなし、ホタルの出前授業や各種イベントも支えて7年目、クールな視点は「ホタル便り」編集に新しい風を運んでくれそうです。(昌)

ゆりちゃん



恋人はトイプードル・りんちゃん。PCを使いこなし、店のダイレクトメールも作成、もちろん売り上げNo.1。最近、ホタルの会ホームページ担当を引き受け更新が進み出している。この先楽しみです。更にもう一つ、ホタルのLINEスタンプ作りに夢中。そして韓国語も勉強中、夢多き女性、友理ちゃんです。(みよし)

編集後記

ホタルの会に参加して約三年。初めて小学校出前授業に参加。実際に目で見て、手に触れ、その場で考える授業に学ぶことの原点を見た気がする。地球温暖化、海洋汚染、森林破壊…私たちを取り巻く環境問題はどれも深刻だが、どこか遠くで起きている問題となってしまう。しかし、その意識がホタルを通して考えると一気に身近になる。自分たちの近くに棲む、美しい光を放つ小さな生き物を守りたいという思いが、一人ひとりの環境を守る行動に繋がるのではないかと信じ、来年もその先も「ホタル便り」を皆様にお届けできるようこの活動を支えていきたい。(ひとみ)

編集委員：土方博・浅岡光子・井上昌子・谷幸代
新宅誠三郎・末廣瞳・永田多恵
PC編集委員：飯塚満智子



代表世話人の任期を終えて

皆様のご協力により6年間代表を務めることができました。軌道に乗りかけた折戸川本流のホタル自然発生も環境変化により大きく減少するなど、「ホタルを飛ばす」という目標は簡単ではありません。幸い、若い方々、新しい会員たちが力を発揮して活気が出てきました。ご興味のある方の参加をお待ちしています。 後藤和正

応援団(会員)募集中 年会費1000円
(義務は発生しません)

お近くの会員に声をかけてください。
ホタル便りをお届けします

後藤和正さんから本年度代表世話人を引き継ぎました。
当会は「できることを楽しく！」をモットーに、小学校出前授業・幼虫飼育・花見会・ホタル観賞前夜祭・年賀焼き芋会・ゴミ拾い大会・会報編集・カワニナ採取・忘年会など、楽しいイベント情報は会員LINEでお知らせします。

【連絡先】折戸川にホタルを飛ばそう会
代表世話人：井上三郎 TEL090-9338-3636

ホタルだより

from 折戸川にホタルを飛ばそう会

(愛知県日進市) 第24号: 2026/9/1(不定期発行)



当会の HP

「ホタルの飛んでいる街」

私にとって、「ホタル」は子どものころ、物語の中でしか見ることでしかない存在でした。しかし、教員として日進中学校区に赴任したとき、折戸川を舞う「ホタル」を目にし、大変驚いたことを今でも鮮明に覚えています。

名古屋市に隣接している本市は、私が教員になってから目覚ましい発展を遂げています。しかし、急速な発展が進む一方で、自然環境を大切に守っていくことの大切さも改めて感じています。

それは、「折戸川にホタルを飛ばそう会」のように、本市の自然を保護し、その環境を後世に残していきたい。子どもたちに自然の豊かさや素晴らしさを体験してもらい、その経験を通して心豊かに成長してほしい。という願いを持って活動していただいている地域のみなさんのおかげであると感じています。

暗闇の中で優しく温かな光を放つ「ホタル」。その「ホタル」を20年以上にもわたり、手塩にかけて育てていただいています。そんな会のみなさんの努力には、ただただ頭が下がる思いです。これからも、子どもたちが「きれい！わぁ！」と思わず口にしてしまう「ホタルの飛んでいる街」を、みなさんとともに未来へ引き継いでいただければ幸いです。

日進市教育長 岩田憲二

マミーの ホタル飼育日記 2025-2026



ホタルの幼虫の飼育を始めて3年目。試行錯誤を繰り返し、日々奮闘中。昨今の過酷な環境の変化に飼育の難しさを感じながらも、いつもひたむきに、前向きに熱い思いを届けてくれるマミーさんの記録です。

8月27日

清流に住むゲンジにはこの夏は過酷！普段石の下やカワニナの殻の中に身を隠して姿を確認できないので、思い切って搜索！

相変わらずのサイズの子もいましたが、大きく成長した子もいて一安心★ヘイケより明らかに数は減っているのは明らかですが、この夏を乗り越えたこの子たちの強い生命力に期待したい！

ゲンジ

ヘイケ

6月30日

ゲンジの孵化が始まりました！初日から驚きの1,000頭越え！「生まれたばかりの幼虫もヘイケよりゲンジの方が大きい」と言われていますが、私の目にはどっこいどっこい？

7月19日

6/12から7/7までに孵化した幼虫。昨日はヘイケの棚卸し。成長により大中小に分けます。私にとっては受験結果発表の心境…。ドキドキの結果は2割減！孵化してからの一か月間は死んでしまう子も多く、数の減少は予想されていたので2割減は大大大合格★の結果でした。

9月3日

8/31は、**酷暑日!!**

名古屋で40℃を記録した夕方、ヘイケの水槽では不思議な現象が…まるで亀の甲羅干し？このまま死んでしまうのではと不安でしたが一夜明け、水槽を覗くと…いつもの様子で石の下で幼虫は元気に動いていました。本当に心臓に悪いε-(´▽`*)数日前から石の上でだらけている子を見かけていましたが集団では初めて…一体何だったの？ヘイケたち、食欲はあります！いや、食べなければ生きていけないと必死なのです！



11月12日

本日ヘイケの棚卸しをしました。ヘイケ水槽5つから数えた総数は3,900頭！本当はもっと生きていてほしかった…(ノド)でも生き残った子は酷暑の夏を乗り越えた猛者たちです。個体差はありますがみんなまだまだ食欲旺盛！冬に入る前のこの時期と上陸前の頃は食欲が本当にすごい！

3月13日

放流会まであと5日！旅立つ幼虫たちの数は…ヘイケ3,760頭！ゲンジ100頭！この子たちが無事に成虫になり優しい光を放ち、会いにきてくれることを願って…。

姉妹クラブ (仲間たち)

EC035 (エコサング)



ビオトープ周辺で自然発生したヘイケボタルが飛び始めた日は5月6日。6月3日～10日、EC035でホタル観賞ウィークを開催。三五グループ従業員とその家族や知人、今年から初めてEC035の近隣住民もお招きして、合計77家族201人(うち子供47人)が参加。ビオトープ周辺で50～60頭とホタル飼育小屋“ヘイハウス”で20～30頭を観賞。「小さい体で一生懸命に光を放つホタルを見て感動した」「近所で、こんな風景が見られるとは思わなかった」などの感想。子供たちは終了時間の間際までホタルの光を食い入るように見ていました。

(吉原義仁)

長久手みなみ里山クラブ



当クラブでは現在ヘイケホタルのみを飼育しています。元々この辺りでは大量のヘイケホタルが飛んでいましたのでヘイケに切り替えました。今年はメスの親ホタルを212頭捕獲して、幼虫は約21,000匹産まれました。内約7,000匹は直接ビオトープ内に放流しました。現在小屋で約14,000匹飼育しています。今年はタニシがかってないほど大豊漁ですので、来年の5月にはホタルが乱舞するんじゃないかと今から期待しています。小屋ではバケツ8杯のタニシ洗いと選別に追われている毎日です。

(水野浩)

筋生まちづくり研究会



今年も筋生(あざぶ)でホタルを見ました。とはいえ、天然ヘイケはいくつか限られた場所に。放流3世のゲンジボタルも数頭確認。これが2026年の現状です。折戸に倣えと始めたものの、メンバーの諸事情で養殖できなくなって2年。川の清掃活動しかできていませんが、それでもゲンジは自然発生し、絶滅するのでは？と心配しているヘイケもなんとか持ちこたえています。奴らが意外に図太いのか、それとも奇跡なのでしょう。

(加藤志津香)



世界のホタル2 ～バングラデシュ～



アディティ・バルア(Adity Barua)さん。バングラデシュから2008年来日。現在は日進市の大学で研究され教鞭をとっておられます。幼き日、故国で目にした夜の出来事に触れた珠玉のエッセイ

時が過ぎても決して消えない思い出はあるものです。

幼い時期のとある週末、家族とランガマチのライバンビハールという村に旅行しました。丘の上には、仏教のお寺があり、緑の森に囲まれたバングラデシュで最も美しいところでした。参拝した後マイクロバスで家路につき、太陽も沈み、私たちは疲れていました。田舎道にさしかかったところ、突然車が故障して停まりました。ドライバーは修理に取りかかりましたが車内は暑くなり、たまらず外に出ました。

外は真っ暗です。漆黒の静寂。小さな光に気づきました。ひとつまたひとつ、数秒もたたないうちに光る小さい蛍が現れ、小さい踊り手のごとく魔法のようなリズムで光りかがやいていたのです。あたり一面、黄金の輝きのようにでした。私は、無言で立ち尽くしました。それは、まるで夜の星が、地上に降りてきたようでした。





にっしん ESD 事業 市内小学校ホタル出前授業

-ホタルの一生と川的环境-

6月9日
相野山小
四年生2クラス

唯一の四年生との授業。とても落ち着いた雰囲気^{ふんいき}で授業スタートです。



6月12日
赤池小
三年生4クラス

授業後、興奮^{こうふん}冷めやらぬ様子で届けてくれた折り紙のホタル！スタッフみんな感動！！

6月17日
梨の木小
三年生4クラス

ホタルの卵と生きたホタルが同時に観察できたラッキーな学校！

6月22日
南小
三年生4クラス

折戸川のお藤元！
元気いっぱいパワーに圧倒^{あきとろ}されるスタッフでした！

撮影：浅岡光子

ルーペを使ってよく観察してみよう。「砂じゃないよ！貝がらだ！」

6月23日
香久山小
三年生4クラス

6月24日
東小
三年生3クラス

前日夜に藤島の田んぼで捕獲^{ほくわく}したヘイケにも授業に参加してもらいました。生きた教材に興味津々！

6月26日
西小
三年生5クラス

生まれたばかりの幼虫を観察中。ルーペをつかって観察しないと見えないくらい小さい



7月1日
北小
三年生3クラス

校長先生も子どもたちに混じってホタルの学習中。

7月3日
竹の山小
三年生3クラス

最終日には、子どもたちからの質問が絶えない授業を市長、教育長にもご参観いただきました。

市内9小学校・全30クラス・961名の児童の皆さん、今年も楽しい出会いをありがとう！

